



# 平成26年度 多文化共生国際シンポジウム

ダイバーシティ

# 人的多様性を活かした地域活性化を考える —プロジェクト「ハタラクラスぐんま」の実践をもとに—

定住外国人・留学生が群馬県で働き・暮らすことを地域活性化につなげるために、当推進室が取り組んだ事業のうち、群馬大学・群馬県「多文化共生推進士」養成ユニット履修生たちと共に取り組んだ4つのプロジェクトに焦点をあてます。



第3部 生まれ育った文化や社会が異なる仲間たちと考えた「年をとる」—何が見えてきたのか  
ぐんまでむかえる『高齢期』に備えるための地域日本語教室

＜参加予定者＞

■コメンテーター（敬称略・順不同）

神谷 輝（愛知県地域振興部国際課多文化共生推進室長補佐）／伊集院 要（日本放送協会ディレクター）／ピッチフォード 理絵（NPO法人青少年自立援助センター 多文化コーディネーター）／植木 修（前橋中心商店街協同組合理事長）／北原雄一郎（馬場川通り親交会長）／糸井 昌信（地域日本語指導者）／大野 克美（多文化共生センターぐんま理事長）／高山 幸延（太田市立九合小学校長）／糸井 和子（太田市立九合小学校教員・地域日本語指導者）／葛尾 ネイテ（太田市バイリンガル教員）／船津 高之（前橋市文化スポーツ観光部文化国際課長補佐）／佐藤 武夫（群馬県企画部国際戦略課長）／服部 芳幸（群馬県生活文化スポーツ部NPO・多文化共生推進課長）／ほか

■本プロジェクト協力者

ブラジル・ペルー・ベトナム・中国・フィリピンのみなさま・子どもたち／東京大学・一橋大学・立教大学・前橋工科大学・共愛学園前橋国際大学・高崎経済大学・上武大学・群馬県立県民健康科学大学・群馬大学の学生／ほか

平成27年 **3/8** [日]

定員 **200名**  
参加費 **無料**

10:30～17:40 開場 10:00

オープニング .....10:30～10:50

第1部

10:55～12:05

学生たちの多様な視点は「まち」をどこまで元気にできるのか（Ⅰ）

「みなかみ・猿ヶ京地区活性化」プロジェクト  
（通称：みなかみキャンプ）

第2部

13:10～13:50

外国にルーツをもつ子どもたちが自然教室で見た姿は何を語っていたか

あかぎ多文化共生事業（通称：あかぎキャンプ）

第3部

13:55～15:05

生まれ育った文化や社会が異なる仲間たちと考えた「年をとる」—何が見えてきたのか

ぐんまでむかえる『高齢期』に備えるための地域日本語教室

第4部

15:15～16:05

学生たちの多様な視点は「まち」をどこまで元気にできるのか（Ⅱ）

「前橋中心商店街パネCOM」プロジェクト

第5部

16:10～17:15

プロジェクト「ハタラクラス」のこれからを考える  
ダイバーシティ  
人的多様性を活かした実践の可能性と課題

クロージング .....17:20～17:40

場所

群馬大学 荒牧キャンパス

教育学部 C棟204 教室 前橋市荒牧町四丁目2番地

お問い合わせ

群馬大学多文化共生教育・研究プロジェクト推進室

TEL/FAX :027-220-7382 E-mail :pcdc@ml.gunma-u.ac.jp

交流会

18:00～19:00

※懇親会費

一般2,000円・学生1,000円

当日申し受けます。

# 平成26年度 多文化共生国際シンポジウム

日経グローバル  
大学の地域貢献度  
ランキング  
「グローバル分野」  
全国1位 群馬大学

## ダイバーシティ 人的多様性を活かした地域活性化を考える —プロジェクト「ハタラクラスぐんま」の実践をもとに—

群馬大学多文化共生教育・研究プロジェクト推進室では、生まれ育った文化や社会が異なる人々がともに地域で暮らし働く環境づくりを目指して、教育・研究・社会貢献活動を進めています。本シンポジウムは、平成26年度に当推進室が取り組んだ事業のうち、群馬大学・群馬県「多文化共生推進士」養成ユニット履修生たちと共に取り組んだプロジェクト「ハタラクラスぐんま」の4つの事業に特に焦点をあてます。これらの取り組みの成果と課題をご紹介します。人的多様性を活かした地域活性化のあり方を、地域関係者と共に考えます。

### 第1部

学生たちの多様な視点は  
「まち」をどこまで元気にできるのか(I)



「みなかみ・猿ヶ京地区活性化」  
プロジェクト(通称:みなかみキャンプ)

### 第2部

外国にルーツをもつ子どもたちが自然  
教室で見た姿は何を語っていたか



あかぎ多文化共生事業  
(通称:あかぎキャンプ)

### 第3部

生まれ育った文化や社会が異なる仲間たち  
と考えた「年をとる」—何が見えてきたのか



ぐんまでもかえる「高齢期」に備える  
ための地域日本語教室

### 第4部

学生たちの多様な視点は  
「まち」をどこまで元気にできるのか(II)



「前橋中心商店街バネCOM」  
プロジェクト

### 第5部

プロジェクト「ハタラクラス」のこれからを考える

ダイバーシティ  
人的多様性を活かした実践の可能性と課題

### 申し込み方法

メールまたはFAX・TELにてお申し込みください。  
FAXの場合は下の申込書に必要事項を記入し、そのまま送信してください。  
メールの場合は申込書の内容をお書き添えください。  
**当日の参加も受け付けます。**

### 問い合わせ先

群馬大学多文化共生教育・研究プロジェクト推進室  
FAX・TEL : 027-220-7382  
E-mail: [pcdc@ml.gunma-u.ac.jp](mailto:pcdc@ml.gunma-u.ac.jp)  
URL : <http://jst-tabunka.edu.gunma-u.ac.jp>

### 案内図



**E-mail : [pcdc@ml.gunma-u.ac.jp](mailto:pcdc@ml.gunma-u.ac.jp) FAX:027-220-7382**

**平成26年度 多文化共生国際シンポジウム (平成27年 3月8日) 参加申込書**

お名前		懇親会	参加・不参加	※懇親会費 一般2,000円・学生1,000円 当日申し受けます。
所属団体名 または学校名		TEL		
ご住所	〒	E-mail		

今後、群馬大学の多文化共生に関わる案内を希望されますか? 希望する 希望しない

※上記記入事項については、本シンポジウム参加者名簿作成および希望者への案内以外の目的には使用いたしません。